

やぶぎ



令和2年
186号

議会だより

令和2年2月1日発行
第416回 12月定例会



成人式 テーマ『創』

- | | | | |
|---------------|-----|--------------------|-----|
| □議長年頭あいさつ | p 2 | □百条委員会の経過 | p 6 |
| □ことぶき大学との懇談会 | p 3 | □議会だよりモニター募集 | |
| □12月定例会 | p 4 | □町政を問う (5人による一般質問) | |
| □専決・補正・質疑・賛否表 | p 4 | □みんなのひろば | p12 |

迎春

町民の皆さん、新年あけましておめでとうございます。昨年中は矢吹町議会に対する深いご理解とご協力をいただきました。心から感謝を申し上げます。

令和という新しい時代を迎え、人口減少や少子高齢化社会の中で、子育てや教育環境の充実、児童数の減少による将来における小学校の統合や再編への取り組み、働く場の確保、高齢者の方が安心して暮らせるまちづくり、防災意識の向上と災害から町民の生命と財産を守るための対策等さまざまな課題に取り組みながら活力ある矢吹町を創っていくかなければなりません。そのためには議会での議論を重ねながら町執行機関と政策を共有して政策実現に向けてしっかりと取り組んで参ります。今年も東京オリンピックが開催されま



議長年頭あいさつ

す。聖火リレーの出発点には福島県が選ばれました。今から56年前の昭和39年に開催された東京オリンピックを機に日本は高度成長を遂げました。矢吹町も今年のオリンピックをきっかけに、より豊かで住み良い町に進んで行ってほしいと願っております。この4年間、矢吹町議会として14名の議員で町政にしっかりと取り組ませていただきました。この3月には議員の任期が満了となるため改選が行われます。今後4年間の町政を託すことが出来る議員を町民の皆さんの貴重な一票で選んでいただきたいと思えます。結びに町民の皆さんのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

矢吹町議会議長 **大木 義正**



矢吹町議会 第17期議員

5区 女性70代

① 町民に慣れ親しんだ中央公民館も使命を終える事になります。その後の土地建物はどのようになるのか。

② 矢小と善郷小を合併し、一つの小学校にして、理想的な教育の場を確保するつもりは。

議会からの回答

① 老朽化が著しく維持管理が難しい。耐震性にも問題がある。建物は解体、跡地の活用は今後検討する。

② 今後の児童数の推移を見据えながら、小学校4校全体で、どのように統廃合を進めるのか、保護者の方、地域の皆様の意見をいただきながら検討する事となります。

2区 女性70代

① 町内にも70才以上が増えているが、高齢者対策は。

② 町議員、女性はゼロ。今後女性を増やす計画は。(このままでよいのか。)

③ 短大と協力して高齢者の学びの機会を作ってほしい。

議会からの回答

① 地区ごとのサロン事業、介護予防自主グループに対する支援。介護予防体操を行う際に、作業療法士等のリハビリ専門職を派遣し、指導講話などを行い、効果を高めるよう取り組んでおります。

② 矢吹町議会としても女性の視点での町政への参画や議会活性化を大いに望んでいるところです。

③ 矢吹町と農業短期大の学校は、地方創生を通じて、幅広い分野の連携協力に関する協定を6月27日に締結いたしました。協定の目的に沿った事業内容であれば協議の場を設けます。

大久保 女性 80代

① ペンクラブも生涯学習の自主グループの一つと思います。里山短歌会と川柳会の旅行をことぶき大学のように年一回出来るように要望します。

議会からの回答

① 町で所有するバスは自家用車であり、道路運送法第4条で、有償、無償を問わず町の事業以外の使用は禁止されております。

白山 女性 70代

① ここに介護老人ホーム、100人も待つていて、民間でしかできないような、議員さんのやり方では、困ります。女性の方々の声を聞いてもらってということ、みなさんの役目です。高齢者施設は寿光園だけでは足りません。町長に掛け合ってください。

議会からの回答

① 強く要望として承ります。



答弁する大木議長



元気いっぱいのことぶき大学生のみなさん

真剣に質問を受ける担当議員

定例会のあらまし

賛成討論

建築費の不足による当該事業の補正であると理解。一般質問での疑問のあった点も説明された。

反対討論

寺内集会所の件について、当初の計画から変更があった場合、その段階で補正することも可能であった。地盤調査の信頼性も担保されていない。

審査結果

12月定例会は、11月29日から12月9日までの会期で開催されました。

町長より提出された令和元年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算6件、専決報告及び承認4件、条例制定2件、条例改正1件、一般議案1件、指定管理者の指定等6件、その他陳情1件について審議しました。

最終日の本会議にて議案3件が否決、その他の議案は可決されました。また、その他陳情1件は採択、発議1件についても可決となりました。

●議案第60号 令和元年度矢吹町一般会計補正予算（第4号）

本案は、既定の歳入歳出予算にそれぞれ4億9,873万5千円を追加し、総額を106億6,655万7千円とするとともに、地方債の補正を行うものであります。

起立採決の結果、賛成少数により、否決された。

○一般会計補正額 4億9,873万5千円 ◎予算総額 106億6,655万7千円

主な補正財源（歳入）

・ 地方交付税	1億5,671万3千円
・ 国庫支出金	1億2,515万9千円
・ 県支出金	2,074万円
・ 繰入金	3,820万円
・ 町債	1億4,060万円

主な使いみち（歳出）

・ 地域集会所整備事業	985万9千円
・ 保育園業務運営事業	3,800万円
・ 産地パワーアップ事業	1,137万3千円
・ 企業誘致促進事業	425万7千円
・ 複合施設管理運営事業	1億3,342万3千円
・ 土木施設災害復旧事業	2億1,040万円

その他の補正予算

特別会計別	補正額	審査結果
議案第61号 国民健康保険	31万4千円	全員賛成により可決
議案第62号 農業集落排水事業	100万円	全員賛成により可決
議案第63号 介護保険特別会計	5,129万2千円	全員賛成により可決
議案第64号 後期高齢者医療	349万6千円	全員賛成により可決
議案第65号 水道事業会計	317万5千円	全員賛成により可決

定例会のあらまし

主な質疑内容

《教育振興課》

問 複合施設のランニングコストはどのように見込んでいるか。また、町で管理する場合の人員費の見積額と業務委託した場合の見積額は、どのようになるか。

答 役場職員が配置されればその役職や人数から人員費を算出することは可能。業務委託だとしても積算により算出は可能。ただし水道光熱費などの経常経費については実際に始まったのちにその金額をお示しすることになる。

問 ふるさとの森芸術村の年間の指定管理料はいくらか。

答 当初予算の予定額で、1086万5千円ほどを見込んでいる。

《企画総務課》

問 職員が31年度計画よりも6人多い理由を聞きたい。

答 都市整備課の方から国道4号線の4車線化の為にそれに関わる公道の見直し、都市計画変更の手続き等があること。道の駅についても国道4号の4車線化の整備が決まるだろうと云うところで、道の駅の準備室を設置して人員を多く配置した。

《まちづくり推進課》

問 今回は寺内公民館跡地の造成費の金額が増額になっている。

答 造成工事をしてみると2m弱掘った所で雨水が出てきてしまったので、今回は雨水対応の補正予算の要求。

報告・承認

報告第6号専決処分の報告について（専決第11号損害賠償について）

金額9,780円

全員異議なく原案のとおり了承。

報告第7号専決処分の報告について（専決第

12号損害賠償について)

金額87,685円
全員異議なく原案のとおり了承。

承認第7号専決処分を
求めることについて
(専決9号令和元年度
矢吹町一般会計補正予
算(第3号))

農業災害復旧関係
金額4億5,610円
原案のとおり承認。

承認第8号専決処分の
承認を求めることにつ
いて(専決第10号令和
元年度矢吹町農業集落
排水事業特別会計補正
予算(第2号))

集落排水関係
金額519万9,00
0円
原案のとおり承認。

条例審査

議案第51号 成年被後
見人等の権利の制限に
係る措置の適正化等を
図るための関係条例の
整備に関する条例

審査の結果、全委員
異議なく原案のとおり

可決すべきものと決し
た。

議案第52号 令和元年
台風第19号における豪
雨被害に係る被災者に
対する町民税、固定資
産税及び国民健康保険
税の減免に関する条例
審査の結果、全委員
異議なく原案のとおり
可決すべきものと決し
た。

議案第53号 矢吹町区
域外道路の路線認定の
承諾について

現地調査及び審査の
結果、全委員異議なく
原案のとおり可決すべ
きものと決した。

議案第54号 矢吹町図
書館の指定管理者の指
定の期間の延長につい
て

審査の結果、全委員異
議なく原案のとおり可
決すべきものと決し
た。

議案第55号 矢吹町文
化センターの指定管理
者の指定について
安井委員(反対)

文化センターの事業
は公園の鍵の管理や利

用申し込みの受け付け
のような簡単な業務だ
けでなく、町の文化を
担うものであるため、
町の関与度を高めてい
くことが必要であるこ
とから反対する。

栗崎委員(賛成)
利用者の立場から見
て現在の指定管理者制
度及び指定管理者に対
する懸念を抱いたこと
はないため賛成する。

吉田委員(賛成)
都市レベルの交響楽
団公演を招致するなど
努力をしていると認め
られたため賛成する。

本会議において賛成
少数により否決。

議案第56号 矢吹町ふ
るさとの森芸術村の指
定管理者の指定につい
て

安井委員(反対)
町の文化を扱うため
関与度を高めていくこ
とが必要であることが
ら反対する。

栗崎委員(賛成)
文化・芸術という難
しい分野に対し問題な
く取り組んでおり評価

できると判断されるた
め賛成する。

本会議において賛成
少数により否決。
議案第57号 矢吹町体
育施設の指定管理者の
指定について

審査の結果、全委員
異議なく原案のとおり
可決すべきものと決し
た。

議案第58号 矢吹町勤
労者体育施設の指定管
理者の指定について

審査の結果、全委員
異議なく原案のとおり
可決すべきものと決し
た。

議案第59号 矢吹町都
市公園等の指定管理者
の指定について

採決の結果、賛成多
数により原案のとおり
可決すべきものと決し
た。
本会議において賛成
多数により可決。

陳情審査

陳情第7号 看護師と
介護従事者の特定最賃
陳情

審査の結果、全委員
異議なく採択すべきも
のと決した。

全員協議会

補正予算は否決され
ましたが、土木費と公
園費の災害復旧工事
は、1月14日以降付け
の専決処分に対応しま
す。

全員異議なく了承。

農地災害復旧につい
ては、査定がまとまる
時期は、1月下旬にな
ると思えます。
全員異議なく了承。

第416回議会(12月) 定例会議案 賛否表

○は賛成、×は反対、退席の場合は退、欠席は欠、議長裁決以外は議の表示

12月議会	議案名称等	議員名 可否	富永創造	三村正一	安井敬博	加藤宏樹	鈴木一夫	青山英樹	鈴木隆司	栗崎千代松	熊田宏	吉田伸	藤井精七	角田秀明	大木義正
議案第55号	矢吹町文化センターの指定管理者の指定について	否決	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	×	議
議案第56号	矢吹町ふるさとの森芸術村の指定管理者の指定について	否決	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	×	議
議案第59号	矢吹町都市公園等の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議
議案第60号	令和元年度 矢吹町一般会計補正予算(第4号)	否決	×	×	×	×	○	×	×	○	○	○	×	×	議

他の議案等は全議員の賛成で了承、承認、可決されています。

定例会のあらまし

道の駅事業及び新町
西道路整備等調査特
別委員会開催状況

令和元年	9月25日	第1回調査特別委員会 正副委員長選任
10月2日		提出要望資料等確認協 議
10月15日		第2回調査特別委員会 提出要望書提出
10月16日		資料提出あり
10月31日		委員長・事務局協議
11月5日		説明員の委員会出席要 求書提出
11月6日		第3回調査特別委員会 小委員会設置了承
11月12日		小委員会
11月18日		事務検査のため記録提 出要求書提出
11月19日		小委員会 事務検査実施
11月20日		追加項目交付請求
11月28日		追加項目等に回答あり
12月16日		小委員会 記録の写し、関係資料 の提出要求

議会広報モニター募集のお知らせ

矢吹町議会では、令和2年度より、より分かりやすく、より充実した広報活動に資するため議会広報モニターを設置することにいたしました。次により募集いたします。

- 対象者 18歳以上の町民
- 活動期間 令和2年4月1日より令和3年3月31日
- 活動内容 ・議会だより（年4回）発行後の評価・意見を頂く。
・意見交換会への参加（年1回）
- 定員 14名
- 応募期間 2月1日より3月末日まで
- 受付 矢吹町議会事務局
- TEL 0248-42-2118

町政を問う

9月定例会では5人の議員が登壇し一般質問を行いました。
次のページからは、要点をまとめて掲載しております。尚、詳細は矢吹町のホームページより、議事録や録画がご覧になれます。

①富永創造 議員 …… 7ページ

1. 防災対策について
2. 教育振興対策について
3. 公害対策について

②三村正一 議員 …… 8ページ

1. 公金支出における情報公開について
2. まちづくり矢吹について
3. 道の駅事業について

③加藤宏樹 議員 …… 9ページ

1. 道路整備について
2. 公共施設の整備について
3. 町長の職責について

④安井敬博 議員 …… 10ページ

1. まちづくり矢吹の事業について
2. 障がい者施策について
3. 複合施設における図書館の運営について

⑤青山英樹 議員 …… 11ページ

1. 人口減少化の行財政について
2. 新町西道路について
3. 寺内集会所について

台風の防災対策は

答 初期対応と体制整備に努める

富永 台風19号の初期段階対応についてを伺う。

町長 12日正午、避難所開設。防災無線、消防団等による自主避難の呼びかけ、午後3時過ぎ、浸水危険地区の住民に直接避難誘導を実施し、午後8時30分に災害対策本部会議を開き、午後10時に、避難指示による強い避難誘導を呼びかけ、夜を徹した即応体制をとりました。初期対応の分析、検証を進めます。

富永 防災ハザード



台風19号による被害（三城目）

マップ見直しの考えは。

町長 浸水区域の見直しに取り組み、一矢吹町防災マップを早急に作成、配布します。

富永 被災された方の声を、今後の検証・ハザードマップに生かす考えはありますか。

町長 その視点も大切、検証・マップ作成も早急に対応したい。

富永 防災教育について。

教育長 防災マップを活用し、自然災害に对应した防災の手立てを考え、自分の命を自分で守れる力を高められるよう、各小・中学校に対し指導します。

町政を問う（一般質問）

児童虐待防止の取組みは

答 対応マニュアルの再確認等を行っている

富永 「児童虐待防止推進月間」の取り組みについてお尋ねします。

教育長 期間中、広報やぶぎ、町ホームページによる啓発、チラシの配布、校長会や園長会での虐待対応マニュアルの再確認を行い、児童虐待防止に努めています。

富永 学校支援員を増やす考えはありますか。

教育長 学校支援員は、担任の目や手が届きにくい部分を細やかに支援し、児童生徒が抱える困難を改善するための重要な役割を担っています。

小学校では10名を配置、中学校では2名を配置し、今後も必要な支援員の確保をします。

富永 教職員の長時間過密労働の解消について伺います。

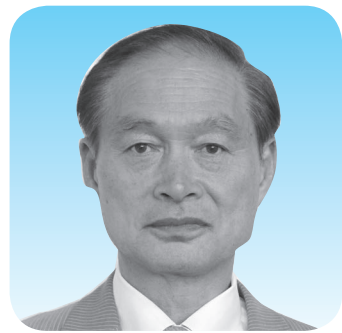
教育長 小学校1校にスクールサポートスタッフを配置、プリント類の作成、集金等、教員に代わって行っております。

中学校には部活指導員2名を配置し負担を軽減、小学校は約1時間削減、中学校は約7時間の削減を達成しています。

その他の質問
・太陽光発電所建設工事による騒音対策。



マニュアル表紙



三村 正一 議員
みむら まさいち

公金支出の情報公開は

答 規定に基づいた公表を行っている

三村 道の駅事業とまちづくり矢吹事業の1社随意契約については、町の予定価格満額で契約がなされている状況である。競争性のない契約がなぜ公表できないのか。競争の為に次年度ほかの企業が安く入れられれば、町民の為になると思う。公表しないことにより高上りのなっているのではないか。

企画総務課長 非公表理由については町の条例等で定めている。1社指名の場合は、その業者が価格的にも内容的にも、安価で良質なものが提供できるとの認識から、特別なものだけ1社随意契約としている。

三村 都市では、契約の透明性を図る取り組みとして、四半期ごとに随意契約の案件を公表しているが、当町での取り組みの考えは。

企画総務課長 工事等の随意契約は公表している。

三村 税金の使われた内容を確認して、公平性・透明性・経済性を検討する権利を持つ議会に対して説明できないような規則は、説明責任を果たす規則に改正すべきであると思う。町長の見解を尋ねる。

町長 法律等があり町独自で形成することは出来かねる。今後、国と相談していくが、現時点で改正する考えはない。

町政を問う(一般質問)

議決無視の職員派遣は

答 派遣ではなく支援である

三村 9月議会で、まちづくり矢吹の公益的法人、職員の派遣については否決されたが、現在も派遣している。議会軽視ではないか。

企画総務課長 まちづくり矢吹は利益を上げていないし、町長がまちづくり矢吹から給与等がないので、利益的なものというものは全く該当しないと考えている。

三村 会計年度任用職員制度について、別会社を作って派遣とか業務委託をするような行政運営ではなく管内市町村と同じく総務省の示すところの行政を行うべきである。次年度計画においては、業務委託契約を終了すべきと考えるが。

企画総務課長 他の市町村では臨時職員を会計年度任用職員に移行する方針である。当町では、公務員でなければできない仕事のみ会計年度任用職員という制度です。



まちづくり矢吹事業所

新町西道路は必要だったのか

答 企業進出が見込める道路と考えている

加藤 2店同時進出の条件として県からは道路で分断すること以外の方法の提案はあったのか。

産業振興課長 別個の条件として、開発会社が同一でないこと、設置者も同一でないこと、道路で分断することとも別個の条件に含まれるとの説明でした。加藤 県は別な方法を提言したのに、道路で分断を選択したのか。産業振興課長 道路で分断が条件に含まれるとの認識でした。



新町西道路

加藤 道路で分断が絶対条件だったのか。産業振興課長 県の提案の必要条件だと思っている。

加藤 イオン・コメリの進出計画書などはあるのか。産業振興課長 イオン・コメリの記録等はありません。

加藤 話を信じて道路を造った、で良いか。産業振興課長 開発誘導道路として、その有

利性で企業進出が見込める道路と考えている。

加藤 ナフコは取締役会で出店の意思決定がされたか確認したか。産業振興課長 確認していません。

加藤 何故、ナフコが進出する企業と断言したのか。産業振興課長 各種面や会社の独自調査や前向きな役員の発言などから認識した。

子供達に快適な教育環境を

答 長寿命化計画で対応する

加藤 中畑小学校と善郷小の雨漏りはいつからか。

教育振興課長 中畑小学校は平成20年頃、善郷小学校は平成26年頃に確認しています。

加藤 以前から分かっていた、なぜ早急に対応しなかったのか。

教育振興課長 昨年度学校長寿命化計画で個別計画を策定し国等から有利な財政措置があり、今年度は中畑小学校、来年度は善郷小学校の個別計画を作成した後に進めていきます。

なぜ早期対応できなかったかは、優先順位や財政状況があったと思われる。

加藤 矢吹小学校の体育館の屋根は増額補正して、すぐに直していますが、それ以前からの不具合をなぜ放置したのか。

教育長 矢吹小学校は、改修時に発見され、保護者等の要望もあり全部完了させました。

中畑小学校は廊下や踊り場で授業には影響がない。全面的改修が必要なことから、善郷小学校を含む子供達に我慢させてきたことにはお詫びします。

その他の質問

- ・生活道路早期整備は
- ・中・長期の財政は
- ・道の駅事業について
- ・新町西エリア開発の行方は



中畑小

加藤 議員

町政を問う(一般質問)

重度心身障がい者医療費給付制度の現物給付を



やすい たかひろ
安井 敬博 議員

〔答〕 財政負担からも慎重対応が必要

安井 重度障がい者が医療機関を受診した際に、後に町に申請することによって、一定程度の医療費の助成が受けられる制度であるが、医療機関の窓口で一旦この助成分を立て替えなければならず、比較的所得の低い傾向にある障がい者の方の負担になっている。



また、医療機関を受診してから、給付まで2か月程度かかる問題もあり、窓口で助成分を立て替える必要のない、いわゆる現物給付化をするべきと思うが町ではどう考えるか。

町政を問う（一般質問）

視覚障がい者への公文書等の点字・音声化を

〔答〕 個別に対応は難しいが検討する

町長 市町村が独自に現物給付を導入した場合、医療機関を受診する患者数が増えると国は解釈しており、増えた医療費については、市町村国民健康保険への国庫負担を減額するという考えで、国保の県移管後も方針に変更はありません。さらに医療機関との調整や電算システムの改修費、レセプトの管理手数料の財政負担がふえるなど、慎重な対応が必要と考えています。



安井 視覚に障害を持つ方々の団体から、役場に毎年、長年にわたる役場からの公文書等に関して、点字や音声版で通知してほしいという要望が出されているが、実施する考えは。

町長 現在声のボランティアコードまによる広報やぶぎと議会だよりの読み上げ録音をし配布しています。ご要望の公文書の点字または音声版での通知につきましては、個別に対応することが現在のところ難しい状況にあり、先進地の事例等を調査、検討し取り組み可能なところから対応したいと考えております。

安井 どういった点が難しいのか。

保健福祉課長 点字化がなかなか難しいこと、専用の機械が必要で音声化ができません。

安井 無料の読み取りソフトなどITの技術活用をすれば難しくはないのではないか。

保健福祉課長 費用的に把握していない状況もあるため、近隣自治体や先進地の動向を把握しながら検討します。

その他の質問事項

- ・まちづくり矢吹の事業について
- ・障がい者差別解消条例制定について
- ・図書館の協議会設置について

予算が成立する前に着工し完成っておりか

答 建築工事費分で造成工事を発注

青山 寺内集会所用地の造成費986万円が12月議会に補正予算として計上されている。予算をたて、可決されて工事着工するものと考えているが、補正予算が可決される前に工事が行われてL字擁壁がすでに設置されている事実を確認する。



造成地全景

企画総務課長 当初予算計上時、造成工事費に擁壁が入っていたかいないかではなく、擁壁工事は設計した後に必要なものである。その金額の膨らみは今後

の発注となる建築工事の部分を造成工事費で発注している。金額的な説明をするのと今回の補正の内容を説明すると若干の違和感があるが造成工事費になかったL字擁壁を議会で認められる前に発注したという認識はない。

青山 予算上なかった擁壁が、実際に構築されているのが実態。財政民主主義、総計予算主義の原則からも問題ないという認識か。

企画総務課長 問題はないと認識する。ただ議会への説明時期が今でよかったかどうかというところはある。

業者の助言で増額！総額8,300万円に

答 地元の要望と業者から提案

青山 切土、間知ブロックなどの選択や経費節約に努めなければならぬが、何故L字擁壁となったのか。

まちづくり推進課長

一点目は地元の要望が強かった。それともう一点、業者からのアドバイス、設計業者からの助言をいただいた。

青山 補正予算額986万円のうち730万円が借金となる。町の持ち出しか。

企画総務課長 寺内集会所の総事業費は8300万円程度かかる予定。県からの物件移転補償費4876万円以外については、起債(借金)、一般財源含めて町の持ち出しとなる。

その他の質問事項

- ・人口減少下の行財政について
- ・新町西道路について



L字擁壁の部分

みんなのひろば

二十歳になって



成人式実行委員長

矢部 智裕さん
(一本木)

この町で生まれ育ち、二十年の時が過ぎました。今振り返ってみると、笑顔で溢れていて、かけがえのない時間を過ごすことができました。改めて、家族や友人、恩師、地域の方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

現在私は、大学で社会基盤や環境保全、防災力向上などの社会システムについて学んでおり、いかに持続可能な生活と社会を実現できるか学びを進めています。大学での専門的な学問は難しく感じますが、それらを多く吸収し得たものを活かして、地域に貢献していきたいと考えています。

これまでの様々な関わりの中で、矢吹町の田園の豊かさや町民の皆様の温かい心など、矢吹町の素晴らしさを強く感じています。私が過ごしてきた二十一年間で、矢吹町は震災復興や近代化を図りつつも、歴史ある町並みを大切にし、魅力のある町へと変化してきたように感じます。そして、私達がこの町を更に発展させ、後世に引き継いでいくことが、私達の使命であり恩返しであると思います。

最後になりますが、矢吹町が十年、二十年後も笑顔で溢れ、豊かで魅力のある町であり続けられる様に、私も日々成長していき、貢献できる大人になりたいと思います。

次回議会のご案内

3月定例会

2月28日(金) 午前10時開会

一般質問

3月2日(月)・3日(火) 予定

●12月議会の傍聴者は合計18名でした。
ありがとうございました。

議会傍聴はどなたでもできます。

申込みは不要です。直接役場3階議場へおいでください。
詳しくは町議会事務局にお問い合わせください。

TEL : 0248-42-2118

E-Mail : gikai@town.yabuki.fukushima.jp



1月5日(日) 消防団出初式 矢小体育館

編集後記

毎回、編集委員一同、町民の皆様に興味を持って広報に目を通して頂く事が出来るのか、紙面作りに取り組んできました。

今回186号でこのメンバーでの発行は最後となります。

次号からは、真新しい広報編集委員さんも入ったの広報作りになると思います。ご期待下さい。

(文責 藤井)

議会広報編集委員会

委員長	富永 創造
副委員長	藤井 精七
委員	鈴木 隆司
委員	鈴木 一夫
委員	加藤 宏樹
委員	三村 正一

発行/福島県矢吹町議会議長 大木 義正
編集/議会広報編集委員会 昭和52年6月1日創刊
印刷/矢吹タイムス印刷

やぶき議会だより

令和2年 186号

〒969-1029 福島県西白河郡矢吹町一本木101
TEL(0248)42-2118 FAX(0248)42-2587
Eメール: gikai@town.yabuki.fukushima.jp